

おけのこ

耶馬溪の紅葉

第3回 定例県議会

九州北部豪雨・台風18号災害復旧・復興、防災対策を全力で

県民生活の安全・安心を第一に



九月八日から二十七日まで、延べ二十日間の会期で二〇一七年第三回定例会議が催されました。七月の九州北部豪雨災害からの復旧・復興に対する補正予算等を中心に審議をしてきたところ、日本列島を縦断する台風十八号が大分県を襲いました。猛烈な風雨により、本県は再び甚大な被害を受け、会期最終日には、台風被害に対する補正予算を追加審議したところです。これら二つの災害により、県内全域にわたって一般住宅、農林水産業、商工業、道路・河川やJR路線に加え、貴重な文化財も大きな被害を受けている状況です。県の総力を挙げて早期の復旧・復興にあたることも、今後に向けて災害への備えをしっかりと対処していく必要があります。

七月の九州北部豪雨と九月の台風十八号による被災は甚大で、早急に道路や水道など社会・生活インフラの復旧と生活再建に全力で取り組むのがまず第一です。そして同時に、今定例会で重点課題として取り組むよう議論してきたのが、今後の防災対策です。とりわけ、私は土木建築委員会に所属していますので、河川改修等の土木工事の強化について意見を述べてきたところです。

当時の被災からこの間にかけて、国が決められている基準以上の河川拡幅等の工事を県が行ったため、五年前と比べて浸水範囲はある程度縮小したものの、前回に続いて被害を受けた地域があるのも実態です。当該地域の住民からすれば、「金輪際、災害に見舞われたくない」と、思うのは当然のことです。

私自身も、生まれ故郷「竹田市」で、昭和から平成にかけて度重なる大きな水害を経験しました。その後、竹田市では大規模な河川改修や二つのダム建設も行われたところです。異常気象が続くなか、今後とも想定を超える風水害が懸念されます。国や県に対しては、そうした災害から住民の暮らしと命を守り得る抜本的な改良工事を求めていきます。

ご意見をお寄せください

第4次産業革命では自動運転技術やドローン活用などが、農林水産業、医療など、様々な分野で活用が期待されています。国や県に対しては、こうした災害から住民の暮らしと命を守り得る抜本的な改良工事を求めていきます。

e-mail info@oita-kida.net FAX: 097-538-0136

2017年度一般会計 補正予算・災害対策概要

(1)九州北部豪雨、台風18号災害復旧・復興対策

1. 被災者・生活支援
避難所の設置、食料品・被服・寝具等の提供、国の支援制度の対象とならない住家被害に対する住宅再建支援金の助成、災害弔慰金支給の助成を行う。

【補正額】 652,375千円 (累計1,159,017千円)

2. 農林水産業、商工業、観光への支援
農林生産施設の復旧や豊前海カキ養殖場の堆積土砂等の除去に対し助成を行う。小規模事業者の事業用資産の復旧等に対し助成を行う。秋の行楽シーズン以降の旅行需要を確保するため誘客対策を強化実施する。

【補正額】 892,885千円 (累計1,125,822千円)

3. 社会インフラ等の復旧
被災した道路、河川などの公共土木施設の原形復旧を行うとともに、河床や砂防ダムに堆積した土砂や流木を除去する。災害の再発防止のため、河道の拡幅や堤防のかさ上げ等の機能強化、砂防施設の新設・改築等を行う。また、被災した文化財(国選定重文景観:小鹿田焼の里)の復旧に助成を行う。

【補正額】 18,292,985千円 (累計31,327,606千円)

(2)「安心・活力・発展プラン2015」の取組充実

1. 民間活力導入職員宿舎整備事業
定期借地権方式を導入し、民間共同住宅として長浜町の「旧保健所跡地」へ職員宿舎を移転整備する。地域の津波避難ビルとして活用するため隣地を購入する。

【補正額】 55,609千円 (累計82,155千円)
※債務負担行為460,800千円

2. 動物愛護拠点施設建設事業
犬猫の譲渡を推進し、動物愛護の啓発・教育を充実させるため、新しい動物愛護の拠点施設を設置する。

【補正額】 22,685千円 (累計362,070千円)
※債務負担行為513,143千円

・設置箇所: 大分市廻栖野(九州乳業から用地を取得)
・完成予定: 平成30年中

3. 地域経済牽引強化事業
本年7月末に施行された「地域未来投資促進法」に則り、売上げや雇用者数の増加につながる民間事業者が行う取組みを支援する。

【補正額】 37,000千円 (新規計上)
・地域経済牽引IoTプロジェクト推進事業 (17,000千円)
・地域経済牽引立地企業支援事業 (20,000千円)

4. その他補正事業
・芸術文化創造発信事業 (80,000千円)
・県立スポーツ施設建設事業 (5,133千円)

(3)その他

今後の健全な財政運営を確保するため、前年度の決算剰余に伴う繰越金(2,681,782千円)の一部を財政調整用基金等へ積立てる。

・財政調整基金、減債基金への積立て (1,787,856千円)

「全県に甚大な被害、生活再建を最優先に」

「災害再発防止のため、思い切った改良工事を」

「新たな特別委員会を設置」

おおいた銘酒館 ゆたよい

「NPO法人 大分県地酒・焼酎文化創造会議」の取組みにより、大分市の中央町アーケード内に県産酒（清酒・焼酎）を県内外へ広くアピールする展示館をオープンしました。

県内39の蔵元、約200種類の県産酒を展示し、ワンコイン（100円）で試飲も楽しめます。

皆様のお越しをお待ちしております



アプリを使って 楽しく健康づくり

私は、今年の第2回定例県議会で「健康アプリの効果的な運用」について一般質問を行いました。

「利用者の健康維持・改善が実感できるよう、健康データを「見える化」すること」、「ポイントの貯まる機会、使える機会を多く設けること」、「アプリの導入効果が分析できること」等を提案してきたところです。

私の意見も取り入れていただき、健康アプリの開発は順調に進み、12月には利用可能となる予定です。

ぜひ、健康アプリ「おおいた歩得」をダウンロードして、皆で楽しく健康づくりに励みましょう。

あるとっく “おおいた歩得”



☆ポイント達成で色々な特典が☆

ポイントの貯め方

- ①歩いて
- ②健康診断で
- ③健康づくりイベントで
- ④スポーツ観戦で



ポイント達成でできること

- 地域協力店で商品ゲット
- コーヒーサービス
- 割引サービス
- スポーツジム無料体験サービス etc

最近の動き

8月

▷九州北部豪雨災害現地調査（日田市・中津市：1日）
県議会全常任委員会合同で両市の被災状況を調査。即日、緊急課題に対する要望・提言をとりまとめて報告。（写真：日田市小野地区）

▷会派県外調査（島根県海士町：2・3日）

地方創生の分野において、全国から注目を浴びる海士町の取組みを調査。（写真：島まるごと図書館からの光景）



▷ゆたよい特別イベント（大分七夕まつり：4・5日）

▷第3回県議会災害対策連絡協議会（18日）

▷竹田高等学校大分・別府同窓会評議員会（20日）

▷本場鶴崎踊大会（20日）

▷第48期労働学校専攻科第6回講座（22日）

▷2018年度当初予算編成に関わる県知事要請（25日）

▷部落解放共闘大分県民会議夏期学習会（26日）

▷大分大学イノベティブ経済セミナー（26日）

▷差別をなくす運動月間県民講座（28日）

▷県外調査（九州国立博物館・光明禅寺：29日）

2万年前の洞窟壁画を最新技術で再現した、世界遺産特別展・ラスコー展を見学（写真：光明禅寺にて大友氏遺跡に復元予定の庭園をイメージ）



▷会派県外調査（茨城県：30・31日）



結婚活動を積極的に支援する「いばらき出会いサポートセンター」の取組みを調査。茨城県の結婚支援事業は、全国一の成婚実績を上げている。（11年間で1,775組を達成）

9月

▷大分県戦没者追悼式（別府市：1日）

今や戦後生まれの世代は8割を超える。戦争の惨禍が繰り返されることのないよう平和への誓いを新たに。



▷NPO 大分県学生交流等協力支援協会意見交換（4日）

▷2017年第3回定例県議会開会（8日）

▷第70回大分県民体育大会（別府市：9日）

▷第4回県議会災害対策連絡協議会（12日）

▷第3回県議会広報委員会（12日）

▷第2回ラグビーW杯大分開催協議会（13日）

▷大分県生協連合会懇談会（14日）

▷ラグビートップリーグ（大銀ドーム：24日）

ラグビーW杯大分開催協議会委員でもあり、会場移動をシャトルバスで往復し、交通状況等を調査。18,279人の来場はまずまずの成功。



▷2017年第3回定例県議会閉会（27日）

防災士

木田昇の

防災メモ



— 災害時の避難所運営 —

7月の九州北部豪雨災害や9月の台風18号災害で、多くの人々が避難生活を余儀なくされました。未だ自宅へ戻れない人もいます。災害規模によっては、避難生活が長期にわたる場合も出てきます。

大規模災害時には住民生活を支える役所自体も被災しており、役所は人命救助、二次災害防止、必要物資・食料の確保等の対応に忙殺され、避難所に十分な数の職員を配置できない場合がほとんどです。

よって、避難所運営は避難者を中心とした自治組織によって自主的に対応することが望ましいとされます。

避難所では運営組織をつくって最小限の生活ルールのもと、救援物資の受け取り・保管、配給や掃除など様々な活動を共同して行わなければなりません。

もしもの際は、大変なのはお互い様です。避難所の円滑な運営のため、皆が相互に協力できるよう心掛けてください。

公式ホームページ&ブログ

木田昇の議会・政務活動を随時更新中。



“大分県議会議員 木田昇”で検索
[http://oita-kida.net/]

*県民クラブHPはコチラ
(http://www.oct-net.ne.jp/shakai-1/)

竹の子記

今回の九州北部豪雨と台風十八号による災害は深刻な被害でした。平成二十四年の大水害も十四年ぶりの大水害もありましたが、昨年熊本地震に見舞われ、その復旧・復興も道半ばの内に今回の被災です。私は昭和五十七年と平成二年の竹田市の大水害を直接経験しています。地震も雨も同様に、容赦ない自然の猛威を改めて知らされ、大限の防災対策を講じていきたいと思います。

さて、県内の広範囲に住民の暮らしが苦難に直面するなか、衆院選が行われました。選挙前の世論の声は「何のための解散か」とする向きがほとんどで、「ご都合解散」とも言われる次第でした。しかし結果は、当初の評価とはかけ離れたものに。同時に気がついたのが、台風の影響とは言え、実に四割以上の有権者が投票を棄権していること。▼投票を棄権していることも、選挙の結果に影響を与えています。投票しても何も変わらない」と棄権せず、自身の意向に近い候補者や政党を選ぶなり、もつと多くの有権者が投票に参加すれば、結果はきつと変わっていたはず。▼一方、政治も変わらなければなりません。「国民が政治離れしているのではなく、政治が国民から離れている」。この政治を直すことが、今もつと求められます。